2022年度活動概要　　言語教師認知研究会

本研究会には、教職に就くことを希望する学生・大学院生（大学等の教職課程履修者）や学校現場で言語教育（特に英語教育）に従事する現職教員を被験者とする研究・調査を進めている会員が多く存在する。新型コロナの影響で、現職教員および学校教育現場へのアクセスが難しい時期が続いたことも一因と思われるが、特に学校教員を研究対象としたデータ収集・分析などが困難な状況にある。そのため、研究会会員の研究活動はもちろんのこと、研究会として企画していた現職教員を囲んでの懇談会の開催が憚れた（オンラインでの実施ではなく対面で行うことに拘るあまりタイミングを逸したことも大きな要因）。定例研究発表会の発表件数と研究会集録の論文投稿数が低迷ししているため、本年度は定例研究会の開催を見送り、次年度以降に研究会収録の発刊を試みる。

なお、２０２１年３月１３日（土）に本研究会主催で開催した「新型コロナの影響下における英語教師の認知と情動を探る」をテーマとした現職教員８名との懇談会については、当該質的データを分析対象として、コロナ禍における言語教師の認知・情動を探索的に調査する試みが進行中である。２０２１年度から行っている質的データの計量分析の手法に関わる情報収集を継続し、次年度は、研究会のイベントとして、質的データの計量分析に関わるワークショップ、あるいは講演会の開催できればと考えている。